



▲今年度開催した「はじめての日本語ひろば」の様子

■教える・学ぶをこえてつながる ~はじめての日本語ひろば~ 「はじめての日本語ひろば」とは

日本語を話すことに対して不安を抱く外国人向けに、初級の日本語を学ぶ場として市が毎年開催している教室です。教室では、日本語ボランティアと外国人住民がペアになって、回ごとにさまざまなテーマで会話をしながら日常生活で使う日本語を学んでいます。今年度は8月から12月にかけて全12回開催し、ブラジルやフィリピンなどさまざまな国籍の外国人住民が参加しました。



体験や生活に役立つ内容を取り入れた教室の様子

テーマ：竹灯籠づくり



市民団体「たねあかり」のメンバーを講師に招き、日本語ボランティアと協力して竹灯籠づくりに挑戦。作品は、後日開催された地域イベントで展示されました。

テーマ：病院



あかつちクリニックの医師を講師に招き開催。参加者は、病院に行くまでの流れや診療を受ける時のやりとりを日本語ボランティアと一緒に練習しました。

参加者の声

外国人住民の参加者

日本語で会話をすることで、日本人との距離が縮むことを実感しました。



日本語ボランティアの参加者

お互いの国の文化を知り、理解を深め合うことに楽しさを感じました。



■多文化を知って・関わってみませんか？

お知らせ

菊川市国際交流協会

「地域でできる国際交流」をモットーに、国際交流を推進しています。日本語教室や交流イベント、中学生等海外派遣事業などの活動を行っています。会員登録に国籍は問いません。楽しみながら異文化交流をしませんか。詳細は市ホームページ(右記)をご覧ください。



募集中

多文化共生サポーター

多文化共生サポーターは、通訳・翻訳などを通じて多文化共生社会の推進を目的に活動するボランティアです。サポーターに登録してくれた人と必要とする団体を市がマッチングします。制度の内容や、登録方法などの詳細は市ホームページ(右記)をご覧ください。



開催告知

つながる菊Caféプロジェクト

文化の相互理解や共生意識の醸成をめざして、文化や生活課題をテーマとした市民参加型の体験&交流講座を開催しています。

開催のお知らせ

誰でも楽しめる「春のお茶会」

お茶の作法や点て方を学びます。

日時 3月28日(土)午後2時～4時

会場 プラザきくる1階 和室

参加費 500円

定員 20人※先着順

申・問 菊Café事務局 星野

e-mail: tunagarukikucafe@gmail.com

本紙p19で多文化共生と向き合う人を紹介しています

市内の小中学校に通う外国籍の子どもたちの学習支援を25年にわたり続けてきた飯田真理さんを紹介しています。教育現場から多文化に向き合ってきた飯田さんの思いをぜひご覧ください。

